

■励まし合って勉強頑張った人たちの記録

勉強は基本的には一人で行うものですが、苦しい受験を乗り越えるためには友達存在も大きな力になります。昨年も棟間通路や学習室で互いに刺激し合いながら勉強しているグループをよく見かけました。今回は2F 西棟間通路で最後まで勉強していた仲よし4人組が協力して当時の思いを振り返ってくれました。

●MJ-OG（4人）からのリレーメッセージ

前女生の皆さんこんにちは。受験期に支え合ってきた4人で自分たちの受験期を振り返って、受験生に伝えたいと思うことをまとめました。息抜きにどうぞ！



福島県立医科大学／看護学科／Kさん



新潟大学／理学科／Sさん




金沢大学／学校教育学類／Iさん




新潟大学／農学科／Mさん




Q.一年前を振り返って、この時期はどのような心がけが必要だったと感じますか？

 「勉強することを目的にするのではなく、勉強を身に付けることを目的に、勉強することが必要だったと感じます。あたり前に思えるけれど気付くと勉強したことで満足しがちです。どうか勉強時間は確保できていたのに成績が伸び悩んだ私みたいにならないでください。そうならない為にも寝る前にその日身に付けた事を振り返ってみると効果があると思います。（大切な睡眠時間を削らないようにさっと思い返すだけでも違う！）でも1回で身につけるなんて無理！だと思ってしまうので忘れて、また覚えて、で全然いいと思います。諦めなければ絶対受かります！皆なら大丈夫～！」

 「模試が立て続けにあるので、優先順位を決めて計画的に勉強する必要があったと思います。私はそれを怠って、1つ前の模試の復習が完全に終わらないまま次の模試に臨むことになってしまったことがありました。これではもったいないですね…！皆さんには次の模試、そして受験までを見据えて、いつまでに何をどの程度まで終わらせるのかを考えながら勉強してほしいと思います。でも、もし計画通りにいかなくてもあまり自分を責めすぎないで！都度都度計画を見直しながら自分のペースで取り組んでほしいです。頑張り屋さんの皆のことだから少し休憩することにも罪悪感を感じてしまうときがあるかもしれないけれど、疲れたときは休んでいいんだよ！！たくさん寝て、たくさん食べて、たくさん体育で体動かして、たくさん休み時間にお話して、休憩しながら勉強してね。応援しています！」

Q.この時期はどういうメンタルで勉強に臨んでいましたか？また、どのようにメンタルを保っていましたか？

 「私はこの時期、勉強以外のことで不安になることがありました。プレッシャーを常に感じている状態で、ちょっとしたことで気持ちが不安定になっていたのだと思います。受験期ではないときも言えることかもしれませんが、あまり考えすぎないことが大切だと思います。どうしても考えちゃうよというときには、気の許せる人に話を聞いてもらうことを激推しします。友達や先生と話すことで受験に対する不安が紛れていたように思います。みんなの頑張りや、みんなの望む形で絶対報われるとは言い切れませんが、でも、真剣に受験に向き合う姿を見てくれている人はい

るし、受験を通して感じられる成長は目に見えなくてもとても価値のあるものです。精いっぱい、自分の力を出し切ってみてください。」



「私は全然前向きな気持ちで勉強に臨めていなかったです。夏休みの勉強の成果は絶対に現れると思っていても、返ってくる模試の成績はむしろ低迷していて…。学校全体の流れだと、夏休み明けはさらにギアを上げろという感じがしたので、この不安を感じているのは自分だけなのかなと思い、それが更に不安を増幅させてしまって辛かった思い出があります。そこからどうやって立て直したかという、その不安を友達に話した(友達からもその不安を打ち明けられた)ことが大きかったと思います。自分だけじゃないと思うと少し肩の荷も下りて、多少は落ち着いて勉強することができました。この時期に不安を感じない受験生はいないんじゃない??だったらみんなが辛いと感じてるこの時期はそんな人たちを出し抜く絶好のチャンスじゃない??…このくらいのメンタルを持っているくらいでちょうどいいと思います。なんならもう、そういうことすら考えずに淡々とやるべきことをやる。結果はあとからついてくる。いっぱい頑張ってきた皆ならきっと大丈夫。受験が終わるその日まで、悔いのないように過ごせると思います！」

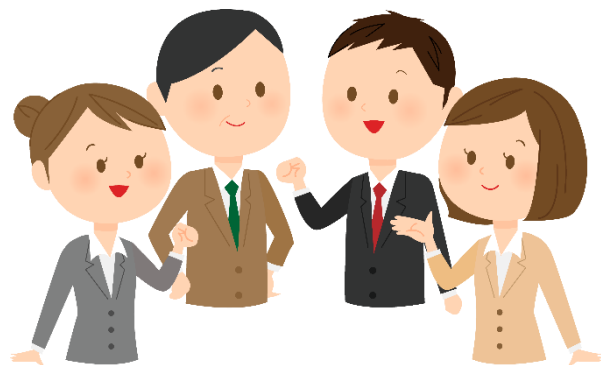
ここまで読んでくれてありがとうございました。今の時期は文化祭などのイベントも終わり受験一色になって、かなり辛い時期だと思います。でもこの辛い時期に頑張れる受験生はとってもとっても強いよ！先生や仲間をたくさん頼って、元気と力をいっぱいもらって、受験を乗り越えていけ!!!

■とある企業の代表取締役の講演から

先日、とある研修で、某有名企業の代表取締役の方の講演を聞く機会がありました。「企業が求める人材」と題して行われたこの講演は、現在の大学生や高校生の様子から見られる、企業が新入社員に求める資質についての話が中心でした。そこでは最近の大学生の特徴として「生徒化」が進んでいることが触れられました。つまり、今の大学生は上からの指示には従順で素直だけれども、他律的で受け身な傾向が見られる、ということでした。また、大学に進学して、専門的な知識を身につけることができるであろう大学生に企業が求める力として重視するのが「①熱意②行動力・実行力③協調性」なんだそうです。意外にも「専門性」がそれほど上位に入っていないということです。大学で、勉強はもちろんのこと、勉強以外にどんな経験をしてきたのかが問われている、ということでしょうか。

そしてもうひとつ、印象に残った話題として、「成長しない社員の特徴」についての話がありました。具体的には以下の項目にあてはまる人だそうです。

- ①正解は1つしかないと思っている
- ②想像力を働かせられない
- ③上司の指示がないと動けない
- ④好奇心がない、関心の幅が狭い
- ⑤みんなと同じが一番安心
- ⑥新しいことに挑戦しない、変化を嫌う
- ⑦経験や失敗から学ばない



これらに当てはまる人は「自己教育力」がない(つまり、自ら考え行動する人材ではない)と言われるそうです。そこで思ったのは、これって、例えば「上司」を「先生」や「親」に置き換えるとそのまま「伸びない高校生」になるんじゃないか、ということ。裏を返せばこれら7項目を逆にすれば「伸びる前女生」になる、ということではないでしょうか。もし1つでも「あてはまるかも」という項目があれば、日頃の生活で少し意識してみてもいいでしょうか(前女の生活は、授業はもちろんのこと学校行事やSSHなど「自己教育力」を高める機会はたくさんあり、あらゆる前女生活を全力で取り組むことで上の全項目は確実にクリアできると確信しています)。「働く」とは

- ・ 誰かの役にたつこと
- ・ 誰かに喜んでもらうこと
- ・ 誰かを幸せにすること

だそうです。前女での生活を通じて社会から求められる、期待される人材に育ってほしいと思います。